3月園だより

令和7年2月28日発行

社会福祉法人東京児童協会　大和東保育園
〒207-0011　東京都東大和市清原2-2-2
Tel：042-561-2958

3月になり、日差しが暖かく春の訪れを感じる季節となりました。

月日が流れるのは本当にはやいもので、今年度も残すところあとわずかとなりました。子どもたちの成長を振り返りますと、それぞれにたくさんの経験を積み心も体も大きく成長しました。保護者の皆様の温かい支えと、日々のご協力があってこその成果だと心から感謝しております。

また、年度を通じて数々の行事や活動にご参加いただきまして、ありがとうございました。お子様の笑顔や成長を共に喜び合うことができ、大変嬉しく思っております。

3月は卒園式やお別れ会など、子どもたちにとっても、保護者の皆さまにとっても感慨深い時期です。これまでの思い出を胸に、新しい一歩を踏み出す準備をしているであろう姿に、私たちも感動とともに寂しさもありながら日々見守っております。保育園で過ごす最後の1日まで素敵な思い出を作り楽しく過ごしていってもらいたいと思います。

また、進級を迎える子どもたちもこれからの新しいクラスにわくわくしながら日々を過ごしていることと思います。さらに楽しく充実した園生活につながるよう、職員一同全力でサポートしてまいります。お子様の健やかな成長を支えるために、引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、保護者の皆様には、今年度も多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。来年度も、子どもたちの笑顔と成長を第一に、より良い保育環境を提供していく所存ですので、引き続きよろしくお願いいたします。これからの季節、子どもたちの笑顔がますます輝くことを楽しみにしています。

【3月のねらい】

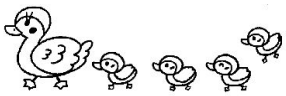
あひるぐみ：・体の動きや表情，発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする
・見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする
ひよこぐみ：・簡単な身の回りのことを少しでもやってみようとする
・異年齢との関わりを通じて様々な人がいることを知る

うさぎぐみ：・保育士等に見守られ、安心して生活習慣を身に付けられるようにする
・ルールのある集団遊びを楽しむ

はなぐみ　：・進級することに期待感を持ち、自信を持って自分のことを1人でする
・自分の思いだけではなく、相手への気遣いや思いやりの大切さに気付く
・お別れの気持ちをどう表現するか考えて、実際に表現していく

ほしぐみ　：・進級に向けて主体的に過ごす
・遊びや活動の中で他児と話し合う等、一緒に作り上げる楽しさを味わう
・季節の移り変わりを感じ、自然に興味を持つ
・異年齢で関わる
つきぐみ　：・保育士等に見守られることで安心し、自分に自信を持って生活しようとする
・友達と認め合ったり協力したりしながら、物事を最後までやり遂げる
・卒園への意識が高まり、身の回りの人への感謝の気持ちをもつ

おしらせ



●卒園式について
3月8日（土）に卒園式を行います。詳細は別途手紙を配布いたします。前日の3月7日（金）に卒園式の準備を行う為、ご協力を頂けるご家庭は、早めのお迎えをお願いいたします。

●登降園の際について
登降園の際、歩道や道路は自転車や歩行者の方もいて危険な為、必ずお子様から目を離さず、手を繋いでください。特に駐車場は、他の保護者の方も利用され車の出入りが多い場所です。事故にならないように気を付けてください。

●園児台帳、生育・健康履歴、キッズガード申し込みについて
来年度、保育園の利用継続される方へ、園児台帳、生育・健康履歴、キッズガード申込書を後日お配りします。園児台帳はご記入いただき、生育・健康履歴は追記や確認をしていただき、14日までに提出をお願いいたします。キッズガードの申し込みをご希望の方は、内容を確認の上ご記入いただき、提出をお願いいたします。

3月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 ひなまつり	4 身体測定 （幼児）	5 身体測定 （乳児）	6 異文化交流 （幼児）	7	8 卒園式 （つき組）
9	10	11 英会話 （幼児）	12 新入園児健診 ０歳児健診	13 誕生会	14 卒園遠足 （つき組）	15
16	17	18 英会話 （幼児）	19 避難訓練	20 春分の日	21 スポーツプロジェクト （つき組）	22
23	24 お別れ会 （幼児）	25	26	27	28	

マルトリートメントをご存じですか？

　マルトリートメントとは「避けるべき子育て」を指します。日本語で「不適切な養育」と訳され、子どもの健全な発育を妨げるとされています。虐待だけでなく、大人から子どもに対する避けたい関わり全てを「マルトリートメント」と言います。マルトリートメントの頻度や強度が増すと、子どもの脳が萎縮したり、肥大する等、物理的に損傷してしまいます。学習意欲の低下や非行、こころの病に結びつく危険性があります。

例えば、以下のようなものがマルトリートメントになります。

・身体的マルトリートメント…・何度も伝えたが、言う事を聞かないので叩く、罰として長時間正座させる
　　・他人の物を盗んだので、罰としてお尻を叩く　等

・心理的マルトリートメント…・他の子と比べる
　　・子どもを支配する　例：親の意見を押し付ける
　　・言葉の暴力　例：侮辱・非難・過小評価　等

・性的マルトリートメント…・嫌がる子どもとお風呂に入る、親が全裸で部屋をウロウロする　等

　子どもの気持ちに耳を傾ける事が大切です。自分の気持ちを受け止めてもらえたという経験は子どもを落ち着かせ、大切にしてもらえていると感じます。
誰しも完璧ではありません。マルトリートメントをしてしまう事もあります。しかし、それを繰り返さないようにする事が大切です。子育ては周りの支援を受ける事が必要です。自治体の支援サービスを積極的に活用しましょう。困った事があれば、いつでも職員にお声掛けください。

参考文献：公益財団法人　母子健康協会「マルトリートメント（避けるべき子育て）が子どもの脳の発達に与える影響について」https://jp.glico.com/boshi/futaba/no83/con01_01.html
一般社団法人　日本家族計画協会　https://marutori.jp/

あひる

　春の訪れを感じる季節になりました。季節の変わり目で体調を崩さないように保育環境を整え、健康管理に気を付けていきたいと思います。
　さて、早いもので一年の締めくくりとなり、あひる組で過ごす時間も残りわずかとなりました。入園当初は不安な気持ちで過ごすこともあったかと思いますが、毎日笑顔で子どもたちを送り出していただき、ありがとうございました。０歳児クラスは保育者との愛着形成を基本として一人ひとりと密にかかわり、気持ちに寄り添うことを念頭に保育して参りました。次第に子どもたちの笑顔が増えて園生活を楽しむようになったことは嬉しい限りでした。今では、様々な物事に興味を示し、『なんだろう』『やってみたい』と探求心に満ち溢れています。子どもたちは自分自身の足で一歩ずつ踏み出し、自分の世界を広げていこうと日々成長中です。これからもみなさんの成長を傍で支えながら見守っていきたいと思います。
　残りの一ヶ月も元気に笑顔で楽しく過ごしたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
一年間、たくさんご協力をいただきましてありがとうございました。

2月のねらい
〇身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる
〇身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を持つ

ひよこ

今年度も残りわずかとなりました。この1年を振り返り、１人ひとり自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に、嬉しさを感じているこの頃です。
　4月の入園当初は泣いて保護者の方を求めて保育者の抱っこも拒むこともあった子どもたちでしたが、少しずつ慣れてきて「せんせいだっこ」と甘えてきてくれるようになりました。心も体も成長して色々な表情を見せてくれています。この1年で自分でやってみようとする気持ちが育み、着替えでは保育者に手伝ってもらっていたことも「じぶんで」と言って頑張ったり、帽子や靴下、靴等、保育者が手伝わなくても自分で1人で着脱できたりする子も増えてきました。友達のことも大好きで一緒にままごとをしたり、追いかけっこをしたり関わって遊ぶことが楽しい様子です。　食事では自分でスプーンやフォークを使用して意欲的に食べ進めおかわりする子も多く出てきました。

保護者の方にはいろいろとご協力いただき、ご不便、ご迷惑をお掛けしたこともあったかと思います。暖かく見守ってくださったおかげで子どもたちと楽しく過ごすことができました。ひよこ組と可愛い1年間を一緒に過ごすことができ、担任一同幸せな気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

2月のねらい
〇感染症に留意し、健康に過ごせるようにする
〇保育士等に援助してもらいながら、身の周りのことを自分で出来る喜びを味わう

〇一人ひとりの子どもが、自分の気持ちや考えを安心して言葉で表し心身共に安定した生活が送れるようにする
〇生活・遊びの中でルールや約束事があることを繰り返し伝え意識する
〇運動あそびを通して、活発に体を動かすことを楽しむ

最年長のつき組と

２月は最年長のつき組と手を繋いで上仲原公園に散歩に行っています。

つき組に兄弟がいる子は一緒に散歩に行くことを知った時から興奮気味に喜んでいましたが、他の子はなんとなく表情が硬くなり緊張する様子が見られました。手を繋いで黙ってひたすら歩く姿が見られています。しかしつき組のお兄さんお姉さんが優しくしてくれることを知り、次第に表情が和らいでいきました。公園に着くと遊歩道を手を繋いだまま列を崩し２人組で自由に歩いています。２歳児だけではとてもできない行動です。うさぎ組の子が少し離れた方に進もうとすると、つき組の子が「ちがうよ、そっちじゃないよ。」と教えてくれたり、石の上を歩こうとすると「あぶないからこっちをあるこうね。」とそっと手を引いてくれたり。つき組の子どもたちは本当に優しく言葉をかけてくれました。保育者が言葉で伝える約束事よりも、つき組の子どもたちの姿を見ることの方が何倍も心に入りやすいと感じました。

帰園すると着替えも一緒に手伝ってくれています。ジャンバーを脱がせてくれ、マークシールを聞きながら片付けてくれる姿、ズボンを両手で上げてくれる姿。お世話する喜びとされる喜びが溢れた素敵な光景でした。

このように年上である自覚と誇りをもったつき組の子どもたちの姿は今のうさぎ組の子どもたちの3年後の姿です。大きくなった子どもたちが年下児に思いやりを持って接する姿を想像しながら、異年齢児と関わることの素晴らしさを感じています。そして、子どもたちに思いやりの心が着実に育っていくように関わっていく保育者の責任を感じた出来事でした。

1年間ありがとうございました

時が経つことの早さを今どなたもお感じになっているのではないでしょうか。つい先日スタートしたようなうさぎ組ですが残すところあと１ヶ月となりました。

先日の懇談会でもお伝えさせていただきましたが２歳児クラスはとても変化が大きな時期だと思います。友達に興味を持つ、関わってみる、関わりの楽しさを知る時期であり、自己主張が強くなる一方でまだまだ甘えたくて依存する気持ちが混ざり合う時期でもあります。友達と関わることは楽しいことであると同時に難しいことでもあり、泣いたり怒ったり、そしてまた仲良く遊んだり。様々な気持ちを経験しながらながら過ごしてきました。そして今一人ひとりが確実に成長していることを感じます。保護者のみなさまもいろいろなことをお感じになりご心配されたこともあったかと思いますが、常に温かいご協力とご理解をいただきましたことに感謝申し上げます。

いよいよあと１ヶ月です。一日一日を大切に過ごしながらうさぎ組の締めくくりをし、環境が変化していくこの時期の一人ひとりの気持ちを受け止め、支え、援助しながら、期待と喜びを持って進級できるように努めていきたいと思います。

はな

2月のねらい
〇感染症予防の習慣を伝えながら、健康的に過ごせるようにする
〇一日の流れを理解し、自分なりに見通しを持って行動する
〇集団遊びで楽しさを共有する

もうすぐほしぐみ☆

ほし組への移行に向けて、自由遊びの時間に遊べる玩具を増やしたり、色鉛筆を使った塗り絵にも挑戦したりしています。自由遊びの際に使う玩具には、花、星、月のマークが貼っており、使える玩具が子どもたちが見て分かるようになっています。2月からトランプ、かるた、カードゲームにも花マークを増やしました。「このげーむできるようになってる！」と喜んだり、「やりかたおしえて？」と年上児や保育者に聞いたりして、集中して遊ぶ姿が見られています。また、色鉛筆は12月頃から製作で練習していたこともあり、「いろえんぴつやりたいな」という声がたくさんありました、自由遊びの際にも自由に使えるように変更すると、好きな塗り絵を見つけて、丁寧に塗る姿が見られています。「できたよ～」と見せてくれ、満足気な子どもたちでした。片付けの際にも、色分けされたケースに上手に片付けてくれています。今後も進級に期待感を持てるような活動を取り入れていきたいと思います。

1年間ありがとうございました

あっという間に1年が過ぎ、ほし組に進級するまでいよいよあと１ヶ月となりました。「もうすぐほしぐみさんになるんだよね！」とワクワクする姿がたくさん見られています。

幼児クラスへ進級した頃は、慣れない雰囲気に圧倒され、泣いてしまう子もいましたが、しばらくすると「おはようございます！」と元気に挨拶をして登園し、「せんせい、きょうはなにするの？」と一日を楽しみにしてくれるようになりました。

この1年で子どもたちはさらにお話が上手になり、ルールを守って過ごしたり、友達との仲が深まったりと、心も体も成長する姿に日々驚かされていました。はな組の担任として過ごせた1年間はとても楽しく、素敵な日々でした。また、保護者の皆様にも様々な場面でご協力いただき、温かく見守っていただき、ありがとうございました。進級まで残り1ヶ月、楽しい思い出を作って行きたいと思います。これからのはな組の子どもたちの成長も楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2月のねらい
〇寒さに負けず体を動かしながら健康に過ごす
〇食事マナーや食具の使い方を意識する
〇自分の思いを言葉で表現し、他児との折り合いをつけようとする
〇進級に向けて異年齢児と関わる

スポーツプロジェクトで・・・

最近、子どもたちの口から「もうすぐうさぎくみさんが２かいにくるんだよね？」「つきぐみになったら、すぎアートたのしみだなぁ」など、来年度に向けてのことが多く聞こえるようになりました。つき組になるワクワクと、緊張が入り混じってるように感じます。

先日、初めてスポーツプロジェクトに参加しました。「なんのせんせいがくるの？」「なまえはなんだろう」とはじまる前からそわそわしていた子どもたち。いざ、元オリンピック選手（体操）の亀山先生がいらっしゃると、背筋を伸ばしてしっかりと話を聞いていました。はじめる前に『話をしっかりと聞く』『あきらめない』ことが大切だという話があった為、「むずかしいよ」「できないよ」とマイナスな言葉がでることもありましたが、「さいごまでやろうよ！」と励まし合いながら参加していました。最後は1人ずつ前に出て、前転の発表も行いました。

これからもっともっと楽しいことが待っています！今回学んだ『話を聞く』『諦めない』を胸に、今後もたくさんのことに挑戦していってほしいなと思います。

1年間、ありがとうございました♡

ほし組として過ごす期間も、残り1ヶ月となりました。6月の運動会をはじめ、様々なことに挑戦してきました。はじめのころは、はさみなどの指先の動きが苦手だったり、話を聞くときについ友達とお話したくなったりしていましたが、今では細かい作業も集中して取り組んだり、保育者が前に立つと「せんせい、おはなしするよ！」「まえむいて、『しー』だよ！」と互いに注意し合ったり、気づいて行動する姿が見られるようになりました。また、泣いている友達がいると「どうしたの？」「こうしたかったの？じゃあ、はなしてみようよ」と自分たちで解決しようとしています。なにより、子どもたちが自発的に集団で「こおりおにしようよ！」「つぎは、ふやしおにがいいな」など、話し合って何をして遊ぶか考えているときに、「ほんとうは〇〇がよかったけど、みんながそっちがいいならいいよ」や「さいしょは△△にするから、つぎは◎◎にしよう」など、互いに意見を言い合い、尊重し合っている姿に感動します！　大きくなった会でも、友達と一緒に協力する楽しさや難しさを感じることが出来たのではないでしょうか。

保護者の皆様には、わたしの勤務形態でご不便・ご迷惑をおかけすることもあったかと思います。それでも、子どもたちがここまで成長する事ができたのは、保護者の皆様のご理解・ご協力があってこそです。本当にありがとうございました。残りの1ヶ月も、楽しい園生活を送る事ができるよう、取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

つき

3月

2月のねらい
〇就学への期待や不安を受け止めてもらい、自信を持って過ごす
〇友達と過ごすことの楽しさを感じるなかで、他児を思いやる
　気持ちをもつ
〇自分たちの成長を感じると共に、周りの人へ感謝の気持ちを表す

卒園式に向けて

園生活も残り1か月となりました。3月は卒園式を始め、卒園遠足やお別れ会等、行事が盛り沢山となっています。思い出をたくさん作って笑顔で送り出せたらと思います。

昨年度の卒園式の様子を振り返ると「おおきくなったらなにになるか、いってたよね！」とリハーサルの見学をしたことを覚えていたり、「♪さよならぼくたちのほいくえん～」と印象に残ったところを一緒に歌ったりと早々にイメージが掴め、やる気十分な子どもたちでした。「み～ぎ、ひ～だり、おじぎ」とコソっと唱えながら証書の受け取り方を練習したり、「おおきくなったら、おもちゃやさんになりたいです！」と勇気を振り絞って将来の夢を発表したりしています。緊張で蛇行しながら歩いたり、自分の出番が終わるとホッとして話し始めたりすることもありましたが、練習を重ねるにつれ、一人一言ずつ話すお別れの言葉がスムーズに言えるようになることや、立つ・座る等の細かな部分でもみんなで揃えるということを心掛ける等、自分たちが主役の場ということから子どもたち自身の意識が高まってきています。本番同様の流れになってくると「そつえんしたくないよ～」と感情がこみ上げてくる子も中にはいましたがそっとティッシュを差し出してくれたり、体をさすってくれたりと支え合う姿に感動させられました。本番は事前録音した曲(たいせつなたからもの)も会中に流したいと思いますので楽しみにしていてください。

本番は一人ひとりが注目を浴びる為、緊張することがあるかと思いますが、子どもたちの晴れ舞台を職員一同で支えていきますので温かく見守っていただき、終了後にはたくさん抱きしめてあげてください。

1年間ありがとうございました

進級してからあっという間に月日が経ち、最終号を書く時期となりました。体の大きさだけでなく、自立や気持ちの成長が著しい1年間だったと改めて感じています。運動会や大きくなった会ではかなり難易度の高い演目を成功させ、より一層、団結力や自信に繋がり達成感に満ちた表情が印象に残っています。日常生活では友達と一緒に話し合いながら活動する中で、時には意見や遊び方の違いでトラブルになったりと楽しいことだけでなく葛藤も経験してきました。互いに支え合いをする中で自分だけでなく相手を思いやることや、考えを汲み取ろうとする力までついてきています。4年間一緒に過ごしてきた日々を振り返ると全力で追いかけっこや体を動かしたこと、新しい活動に目をキラキラさせている表情、思い通りにならず泣いている顔、難しかったことができた！に繋がった瞬間、時には全力で向き合い話をしたことは全て私の宝物であり、大切な思い出です。保護者の皆様の多大なる園や活動へのご協力があってこそ子どもたちの成長に繋がっています。心より感謝申し上げます。卒園までのカウントダウンが迫ってきていますが、変わらず全力で向き合い、自信を持って1年生となれるよう見守っていきたと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。